



日野町青少年育成町民会議会報 第60号 (令和6年8月)
 発行者 日野町青少年育成町民会議
 会長 安藤 宜保
 (日野町教育委員会事務局 生涯学習課内)
 〒529-1698 滋賀県蒲生郡日野町河原一丁目1番地
 ☎ 0748-52-6566
 ✉ kik-syogai@town.shiga-hino.lg.jp

「令和6年度 日野町青少年育成町民会議 総会」を開催しました

令和6年度 活動方針

「大人が変われば 子どもは変わる 子どもが変われば 未来が変わる」
 ～あいさつ・声かけでつなぎ育む温かい町 日野町～



令和6年6月21日(金)に日野公民館ホールにて、令和6年度 日野町青少年育成町民会議 総会を開催しました。

堀江日野町長、杉浦日野町議会議長、山口東近江警察副署長に
 来賓としてご出席いただき、その他構成団体など61名の方に参
 加いただきました。

今年度も生活の基本であるあいさつや、子どもたちへの声かけ
 を推進することを皆さんに確認いただきました。

地域みんなであいさつ運動の輪を広げましょう。

■研修会を開催しました■

「子どもが輝くまちづくり ～地域の大人のかかわり方～」

総会に続いて、楽育のたね主宰 中島みちる氏を講師にお迎えし、研修会を開催しました。

中島氏は今年度日野町の様々な事業にて講演を依頼されており、幼稚園や保育園でも保護者向けに
 ご講演されています。

講演の一部をご紹介します。

【親は焦る 親だけが焦る 悪循環の積み重ね】

やりたくないことがない。うるさく言わないと何もしない。見通しを持ってない。

⇒そんな要因として

- ①子どもを待てず、大人が先にやってしまう。子どものために…と、つい親が一生懸命やってしまう。
- ②「自分で」やる機会を子どもに与えなかった。
- ③大人が一方向的に約束事や目的を与えてきた。



【子どもの話を聴く習慣】

- ①最後まで聴く ②途中で話を切らずに聴く ③最後は話してくれたことに感謝
 - ④子どもの言葉を繰り返してみる ⑤「解決」を急がない
- 「なんでこうなったん？」と原因を究明したり、「もうええ、しらん」と突き放さず、
 「次はどうしたらいいかな」と一緒に考えることが大切です。



中島みちる氏

ふれあい学習会 9月26日(木) わたむきホール虹 大ホール ◆中島みちる氏が講演されます

ラジオ体操しよう!



ラジオ体操講習（南比都佐小学校）

小学校巡回ラジオ体操講習

大人と子どもが地域で交流を図るため、夏休みの「ラジオ体操」推進運動に取り組んでいます。子どもたちにとって生活のリズムが不規則になりがちな夏休みに、早朝の爽やかな空気の中で地域の方とコミュニケーションを図り、体を動かすことで健全な「こころとからだ」を育むことを目的としています。



子どもたちに指導する山本いづみ先生

子どもたちの他に老人クラブさんにもラジオ体操カードを配布し、地域で子どもの見守りをいただけるようお願いしています。

また、夏休みを前に、子どもたちが正しいラジオ体操を学び、規則正しい生活と地域での交流を深めてもらうきっかけとなるように、全国ラジオ体操連盟公認1級ラジオ体操指導士の山本いづみさんに各小学校を巡回していただき、正しいラジオ体操をご指導いただきました。

小学生のみんな！先生に習ったことを思い出して、元気にラジオ体操をしましょう！

フレンドマート日野店において街頭啓発活動を実施しました



例年、7月の「青少年の非行・被害防止滋賀県強調月間」に合わせて街頭啓発活動を行っています。期間中はフレンドマート日野店さんのご協力を得て、店舗内に啓発品とのぼり旗を設置させていただき、青少年健全育成の啓発活動を実施しました。

7月12日（金）には、構成団体の皆さまや東近江警察署、日野高校生の方々と一緒に啓発グッズを配布する、街頭啓発活動を実施しました。

また、各地区公民館や少年センター等においても、のぼり旗の設置による啓発活動を進めました。地域の方々が子どもを見守る、温かい町にしていきましょう。